

令和3年度 港川こども園 職員自己評価シート（保育教諭等）

行動指針に対する状況を記入します。（1(あてはまらない)⇔ 3 ⇔5(とてもよくあてはまる) ※評価の平均値は（少数点第2以下四捨五入）

※評価の計、合計の値は、全ての保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
1 教育・保育目標に基づく学級経営の充実		評価点の計（最大値35）
		24.4
1	園の教育・保育目標及び教育課程に基づいた学級経営を実践し、定期的に評価・改善している。	3.3
2	学級目標を具現化し、意図的かつ計画的な学級経営と保育実践を行っている。	3.2
3	一人ひとりの幼児を大切に、幼児同士も互いの良さを認め合える学級となっている。	3.9
4	幼児の主體的・自発的な活動ができるよう適切な援助を心がけ、環境構成を工夫している。	3.3
5	学級のことについて、他の職員とも積極的に情報交換を行っている。	3.9
6	室内外の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。	3.2
7	保護者の理解を得ながら、特別な支援を要する幼児の個別の指導計画、個別の教育支援計画を立案をし、実践する。	3.5
2 教育・保育の質の向上		評価点の計（最大値50）
		28.8
1	園内カンファレンス等を通して、多面的な幼児理解をしている。	2.9
2	相互に保育参観を行い、教育・保育を高め合っている。	2.0
3	週日案の中で日々の保育や記録を振り返り、評価・改善をしている。	3.3
4	研修会や研究会には自己課題を持って参加したり、専門書を読んだりしながら自己研鑽に励んでいる。	2.6
5	幼児の自発的な活動を促す環境構成となっているか振り返り、改善を行っている。	2.9
6	保幼小の連携の中でそれぞれの保育・教育内容について理解し、円滑な接続に取り組んでいる。	2.3
7	小学校と連携して接続期のカリキュラムを活用した実践を行い、公私連携型こども園としての役割を意識しながら保育所・私立幼稚園・私立こども園と連携し、教育・保育課程をつなげている。	2.3
8	必要に応じて個別の支援計画・指導計画を作成し、障がいの状態に応じた指導の工夫をしている。	3.5
9	職員同士で共通理解を図り、連続性のある教育・保育を行っている。	3.7
10	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深め、それに基づいた保育を実践している。	3.1
3 子育ての支援の充実		評価点の計（最大値35）
		23.3
1	家庭との連携を密に行い、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握できるようにしている。	3.9
2	クラスだより等で、教育・保育の内容やねらい、子どもの様子等をわかりやすく伝え、子育てや幼児理解に必要な情報を発信している。	3.3
3	学級懇談会や保育参観等において、保護者同士のつながりがもてるような場を提供している。	1.9
4	日々の情報交換や個人面談等で子育てについて保護者の悩みを聞き解決に向けて丁寧に対応している。	3.5
5	事故や問題が起きた場合に保護者への説明や対応が迅速かつ確である。	3.9
6	不適切な養育や虐待を受けている疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防について、保護者向けに子育ての情報提供及び関係機関との連携を図っている。	3.1
7	家庭と連携しながら食べて・動いて・よく寝ようを推進し、基本的な生活習慣の形成を目指した援助を行っている。※生活習慣アンケートの活用	3.5
【取組状況に関するコメント】		評価点の合計（最大値120）
【保育教諭の意見等】		76.5
<p>①自分自身のスキルアップを図り、子ども達にとってのより良い環境づくりや保育を行っていききたい。②全体的に「振り返り」が出来ていなかった為、次年度からは気をつけていきたい。③学級経営や幼児が主体的に活動できる環境づくり等、日々振り返り改善することが全くできていなかった。④日々の保育に追われすぎて、気持ちにゆとりを持つことが出来なかった事を非常に反省している。⑤年長クラスは、3クラスあるので連携するようにできた。⑥クラスだよりや、送迎時に保護者と話し合う時間をなるべくとるようにしている。⑦今回の自己評価を通して改善点を見直し、今後の保育に繋げていきたい。⑧より良い保育ができるように、保育の質の向上を高めていかなくては行けないが、今年度は経験がないこともあり日々の保育に追われて反省する事ばかりです。⑨色々学ぶことの多い1年でした。⑩コロナ禍で、保育参観等が出来ず、保護者と保育教諭の交流の場や保護者同士の交流の場が中々持たず残念でした。⑪子ども達の園での活動を保護者に見せてあげたかったです。⑫今後、たくさんの書籍などを読んで、特別な支援を要する幼児との関係も深めていきたいです。⑬自己評価をすることで改善できる点が明確にすることが出来た。今後これらを意識して取り組み、保育の資質向上に努めていきたい。⑭年度途中からクラスに入ったので、学級経営に関わる事がほとんどなかった。課題をもって積極的に保育していきたい。⑮時間の有効活用が出来ていたのか。限られた時間の中でたくさん子ども達の為に日々、務めていけるように頑張りたいです！⑯クラス内での職員同士の情報交換は行なっていたが、他クラスとはあまり行えていなかった為、改善していきたい。⑰自己評価をすることで、日々の保育を見つめ直すことが出来、いい機会だと思った。⑱今年度はフリー保育教諭として全クラスに携わる事が出来たので良かった。次年度は一人ひとりの子どもや保護者の方と密に関わるように努めていきたい。</p>		
<p>【自己評価シート（保育教諭等）の分析及び課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の職員同士の情報交換が適切に行われ保育に生かされている。（教育・保育目標に基づく学級経営の充実 問5、教育・保育の質の向上 問9） ・家庭との連携して、園児の成長を共有しながら保育を提供することができている。（子育ての支援の充実 問1、問4、問5、問7） ・特別な保育を要する幼児が多い中で、個々の発達に応じた保育を実践できた。（教育・保育目標に基づく学級経営の充実 問7、教育・保育の質の向上 問8） ・園児同士が互いに尊重しあえる保育環境を育むことができている。（教育・保育目標に基づく学級経営の充実 問3） ・本年度は保育参観の機会が1度しかなかった。（教育・保育の質の向上 問2） ・小学校生活に向けて接続期のカリキュラムを実践した保育をしているが、コロナ禍ということもあり、港川小学校や近隣の特定教育・保育施設との連携を進めることができなかった。（教育・保育の質の向上 問6、問7） ・保育計画では、親子レクリエーションや保育参観等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大期間と重なってしまい中止となってしまう機会を交流の機会を逃してしまった。（子育ての支援の充実 問3） 		